

健気な女の子の成長を描いたく少女映画>の傑作が誕生!

ベティは幽霊と暗闇が怖い女の子。

パパが院長を務める精神病院の隣りにある、大きなお屋敷に住んでいる。 でも、お姉ちゃんが寄宿学校に行ってからは、おうちの中でひとりぼっち。

パパとママは毎晩けんかしているし、たまに会いに行く大好きな犬のナッツは、

檻のなかで囚われの身。そのうえ、クラスメイトには「地球は死にかけた太陽だ」って言われて、もう頭の中は不安でいっぱい。

そんなある日、ベティは、パパの病院から抜け出してきた青年イヴォンと出会い、庭の自転車小屋にかくまうことに。

パパとママに内緒であれこれと世話を焼くうちに、ほのかな恋心が芽生えたベティだが…。





『中国女』ゴダールのミューズである女優/小説家 『アメリ』

原作アンヌ・ヴィアゼムスキー × 脚本 ギョーム・ローラン により

絵本のような世界が紡ぎだされた

15歳の少女の危うい恋愛を描いた『デルフィーヌの場合』のジャン=ピエール・アメリス監督が、 今回は、10歳の主人公ベティの瞳に映る不安定で美しい世界を見事に表現した。

ベティ役は、『ぼくを葬る』で映画デビューを飾ったアルバ=ガイア。

瞳の強さと深いまなざしがこの役の決め手となり、誰もが小さい頃に感じた

自分を取り巻く世界に対する不安や恐れを情感豊かに演じている。

フランスの美しい田園風景を背景に、かつて子供だったすべての大人たちに

忘れかけていた感覚を思い起こさせるだろう。

ベティの小さな秘密

Je m'appelle Elisabeth

監督・脚色:ジャン=ビエール・アメリス 製作:ファビエンヌ・ヴォニエ 脚本・台詞・脚色:ギヨーム・ローラン 原作:アンヌ・ヴィアゼムスキー 撮影:ステファヌ・フォンテーヌ,AFC 美術:ジャン=ピエール・コユ・スヴェルコ 音楽:フィリップ・サルド 出演:アルバ=ガイア・クラゲード・ベルージ ステファヌ・フレイス ヨランド・モロー マリア・ド・メデイルシュ バンジャマン・ラモン ロリアヌ・シール オリヴィエ・クリュヴェイエ ヴィルジル・ルクレール ダニエル・ズニク ジャン=ボール・ルーヴレ パトリック・ビエロン 2006/フランス/カラー/ビスタサイズ/ドルビーSRD/1時間30分/フランス映画祭2007正式出品作品

後援:フランス大使館 協力:ユニフランス ©2006-PYRAMIDE PRODUCTIONS/FRANCE 3 CINEMA/RHONE-ALPES CINEMA 提供:ヘキサゴン・ピクチャーズ 配給:ヘキサゴン・ピクチャーズ+アステア 宣伝:アステア

www.betty-himitsu.com

宮崎アニメからも インスピレーションを受けました。 本作のテーマカラーは赤と縁。 赤は情熱で、緑は不安を 表しているのです。

ジャン=ピエール・ アメリス監督



『ポネット』『千と干尋の神隠し』 『パンズ・ラビリンス』といった <少女映画>の系譜に連なる じつに魅力的な作品。

中条省平(フランス文学者)



イメージソンク

阿部芙蓉美「trip-うちへかえろ-」 (フォーライフ ミュージックエンタテイメント)

●1stアルバム「ブルーズ」収録(発売中)

●9月10日、シングルカット決定!

9/20(生)ょりベティに会える

特別鑑賞券発売中¥1500(稅込)[当日一般¥1800の処] 劇場窓口にてお買い求めの方に限り、ハギレ絵イラストレーター ヨシエ×「ベティの小さな秘密」コラボノート付き(B6サイズ・数量限定)



イラスト付





初回ご来場者



インテリアブランド "コントワール・ドゥ・ファミーユ"の 家具や雑貨を使い、ベティの お部屋をイメージしたコーナーを設置。





www.collaboration.co.jp/cu



渋谷で人気の老舗クレープ 屋さんで、映画公開に合わせ コラボメニューが登場!



渋谷に新しくできた南仏にある一軒家のような ガレット屋さんで、映画公開に合わせ コラボメニュー&パネル展を実施予定。

ベティのプティ・ガトー (小さなおやつ)

*オ・タン・ジャディス (メルスリー)

手芸屋さんで、映画公開に 展示&パネル展を実施予定。



輸メゾン・ド・マニー

の家具や雑貨を使い、映画公開 に合わせイメージグッズの展示 &パネル展を実施予定。



のHPは、こちら www.many.co.jp

のHPは、こちら www.many.co.jp